



**第44号**  
 和歌山県高等学校PTA連合会 会報  
 ☎640-8312和歌山市森小手穂136  
 和歌山県立和歌山東高等学校内  
 TEL073-488-7210・FAX073-488-7786  
 URL:http://www.27wakop.jp  
 E-mail:wakop@titan.ocn.ne.jp



和歌山県高P連近藤一八副会長(和歌山東)が開会を宣言。福田雄介高P連会長(和歌山北)の挨拶の後、和歌山県教育委員会より吉田雅彦生涯学習局長と松本泰幸校長(向陽)よりお言葉をいただきました。



会場は、移転新築された和歌山城ホールの小ホールをお借りしました。会場は、移転新築された和歌山城ホールの小ホールをお借りしました。

続いて、「薬物乱用の現状と防止対策」について、和歌山県薬務課の薬剤師さんより高校生や若者にも増えている市販薬の乱用や大麻等々についてお話いただき、保護者として子ども達を守るために正しい知識や情報を得る機会となりました。

続いて、二つの講演が行われました。初めは、和歌山県出張減災教室より講師をお招きし、「地震・津波についての基礎講座」と題し、現在発生している地震の状況や、県の防災・減災対策、家庭や地域での取り組みや備えについて学びました。



最後に広報紙コンクリルの表彰式があり入賞7校が表彰されました。

**講演 I**  
**「地震・津波についての基礎講座」**  
 和歌山県 出張! 減災教室

八月に宮崎県日向灘で発生した地震を受けて、気象庁は南海トラフ地震臨時情報巨大地震注意が一週間出されました。南海トラフ地震は今後三十年の間に高い確率で起きるとされており、防災減災意識を高めるにあたって、今回和歌山県危機監理局の事業である出張減災教室より講師をお招きして講演をいただきました。冒頭に17%という数値を話題に挙げ、これは阪神淡路大震災時の生き埋めになった方で救助隊によって救助された数値との説明でした。災害時は救助隊に助けってもらえと思われがちですが、実際は自力での脱出または家族や近所の方等の身近

な人による救出がほとんどとの説明があり、このことに大変驚きました。続いて南海トラフ地震のメカニズムについて詳しく説明いただき、過去の地震がどのような特徴でどれくらい周期で発生しているか、また今後起こりうる地震の発生率等、かなり細かなデータをもとに解説していただきました。



次に地震の後は津波にも注意が必要であり、揺れが収まれば早く避難を開始し、たとえ50cmの津波であっても、人は簡単に流されてしまうことから、津波に追いつかれる前に安全な場所に避難することが大切とのことでした。

この先起こりうる地震や津波に関して日頃から避難所の確認や住宅の耐震化、室内の転倒する可能性のある家具の対策等、被害を少しでも減らす工

夫を行い、特に寝室は重要な部屋であり、まずここから始めるようにアドバイスがありました。これは、一番長く滞在する部屋であり、転倒の危険性が高いタンス等の家具が配置されているため、家具の設置場所や向きを変えただけでも効果があるとのことでした。避難場所に関しても、各市町村が発表しているハザードマップを確認すれば、避難所のほか浸水域等も同時に確認できるため有効活用してほしいとおっしゃっておられました。

この講座を受講して、地震津波の対策は待ったなしの状況であり、常に危機意識を持つことが大切であると実感しました。まずは、身近なところから対策していきたいと思



(報告)  
 串本古座高等学校  
 友友会

### 講演 II

## 薬物乱用の現状と防止対策

和歌山県福祉保健部 健康局 薬務課



ました。私自身も眠気覚ましに飲むことがあるので過剰摂取にならないよう気を付けようと思いまし

今回講演いただいた講師さんは、薬物乱用予防啓発、取締、再乱用防止を主な業務とし、他に衛生関係の許認可業務を行っておられる方です。薬物乱用防止教室に行った高校でカフェインを多く含んだドリンクを1日5本飲んでいてという生徒がいたという事例を紹介されました。日本では規制がないので、どれだけ摂取しても法律には抵触しないが、体重50kgの生徒だとそのドリンク一本飲んだ時点で海外での許容量を超え、お茶やコーヒーなど普段の食事にもカフェインが含まれているので思っている以上にカフェインの摂取となってしまう。カフェインには血管拡張作用があるのでそれに付随する症状が出るかと解説していただき

薬は反対から読むとリスクであり、市販薬の中には過剰摂取で簡単に致死量に達する製品もあるそうです。国の調査では過去一年間に市販薬の乱用経験があるという高校生は約60人に1人の割合という推計が出ており、県内で講演に行った学校で市販薬の過剰摂取の経験がある高校1年生の感想文を紹介されました。先生に尋ねると生徒特別指導の対象になるような生徒ではなかったということ、周囲の人が気付くことの難しさを感じました。薬に限らず日常生活に必要な物をあつても使い方を誤ると人を傷つけてしまうことがあるとお話していただきました。

和歌山県での薬物事犯検挙者は30歳未満が80%を占め、高校生や中学生も検挙されている。検挙数を人口割りで算出すると和歌山県はワースト5位であるなど、薬物はテレビの中だけの世界ではなく身近な問題であることを解説されました。私も芸能界や大都市だけの話だと思っていたのでこの数字に衝撃を受けました。最後に大学入学生へのアンケートを行った結果、薬物乱用防止講座で大麻や覚せい剤の害、使用すれば罰せられることは知っているが15%の学生が薬物の使用現場を目撃したと回答しており、秘密は厳守するので何かあれば相談窓口

に相談して欲しいと講演を締められました。

(報告) 新翔高等学校 育友会

薬物は「1回でも手を出さない」これが大切

### 分科会

## 「PTAの在り方」

県立中学校委員会

県立中学校5校の保護者及び先生方15名が参加し、分科会が開催されました。

今年度は

### 「PTAの在り方」

をテーマに、コロナ禍以降の新しい取り組みや文化祭でのPTAの関わり方、PTAの役員の勧誘の仕方、体育祭の時期や開催場所、内容などの意見交換をフリーディスカッション形式で行いました。

古佐田丘中学校は、初めて保護者も参加して校外清掃を行いました。生徒会主導で計画を立て、橋本駅周辺と駅から学校までの通学路の清掃を行いました。PTAは生徒の見守りを中心として、許可を取りに行くなど、生徒と一緒に清掃活動をする

をするのができました。向陽中学校は、文化祭でPTAがお菓子とお茶を提供するカフェを運営し休憩できる場を提供したことが好評でした。日高高等学校附属中学校では、文化祭でバザーや制服リユースを行いました。制服リユースはバザーだけでなく、制服のホックの直しなどにも部品を使うなど、普段の学生生活の中でもリユースの活用をしています。



田辺中学校では、制服リユースを行っています。が、制服を提供する側が使ってもらおう側にメッセージをつけるなど、大切に使用してきた気持ちも添えてお渡ししています。また、コロナ前に開催していた中学校保護者だけ

で行うソフトバレーボール大会を久しぶりに開催し、楽しく保護者間の交流を行いました。桐蔭中学校は、PTA活動に参加していただく人材確保のため、アンケートにグループフォンを活用し、意欲のある方を勧誘することを始めました。また、新たな取り組みとして、今春卒業の学生に不要になった参考書の寄贈を募り、新3年生に提供できないか検討しています。

今年度のディスカッション方式の分科会は、各学校のPTAが子供たちのため、よりよいPTA活動のために考えた内容について意見交換ができました。皆様、お忙しい中本当にありがとうございました。

(報告) 桐蔭中学校 PTA副会長 津河純子



## 教育懇話会

令和6年11月22日（金）和歌山県民文化会館

県教育委員会関係各課より 7名  
 高等学校長会より 3名  
 県高P連より 9名

- ① 交通安全教育について
- ② 就職者による早期離職者問題について
- ③ 学校・県教育委員会が保護者（PTA）に望むこと
- ④ その他

当日は、各議題について日頃保護者が感じている事や思っていること、県教育委員会としての対策や対応、また、学校での現状や様子、対応いただいている事など、活発な話し合いが行われました。



### 第3ブロック高等学校指導者研修会

令和6年11月28日（木）有田中央高校

#### 「今どきの若者と原体験」

講師 南紀生物同好会長  
 和歌山県自然環境研究会  
 細田 徹治 氏

箕島・有田中央・有田中央清水分校・耐久  
 日高附属中学、日高・日高中津分校・紀央館

## ブロック別研修事業

県内を5ブロックに分けて各地域に適合した活動を展開する。

PTA相互の交流を通じ会員の研鑽に資するものとして、会員の参加率向上とそれぞれのPTA活動の活性化を図る。

### 第4ブロック

#### 「交通安全教育の実施」「ポスター作製」

交通安全とネットマナーについての標語とポスターを募集、優秀作品をポスター作成し各校に配布。併せて登下校時の交通指導を行った。

南部・南部龍神分校・田辺中高・南紀  
 神島・田辺工業・熊野

### 第1ブロック教育講演会

令和6年11月27日（水）伊都中央高校

#### 「日本とオーストラリアの違い」

講師 医療法人愛晋会 あい船所  
 取締役 デイビット ベイツ 氏

古佐田丘中、橋本・紀北工業・伊都中央  
 紀北農芸・笠田・粉河・那賀・貴志川

### 第5ブロック研修会

令和7年2月7日（金）串本古座高校

#### 「宇宙へ行こう！

～串本古座高校で目指す宇宙教育～

講師 和歌山県商工労働部企業政策局  
 成長産業推進課 主幹  
 藤島 徹 氏（串本古座高校教諭）

串本古座・新宮・新翔

### 第2ブロック教育講演会

令和6年11月26日（火）県民文化会館

#### 「今の高校生の心を理解するために」

講師 高野山大学文学部教育学科  
 特任教授 上野 和久 氏

県立和歌山・和歌山北・向陽中高・桐蔭中高  
 和歌山東・きのくに青雲・和歌山商業  
 和歌山工業・星林・海南海南校舎・海南大成校舎  
 海南美里分校・市立和歌山

## 第23回 和歌山県高等学校PTA広報紙コンクール

- 最優秀賞 (一社) 神島高等学校育友会
- 高P連会長賞 和歌山北高等学校PTA
- 優秀賞 向陽中学校・高等学校PTA  
古佐田丘中学校・橋本高等学校PTA
- 佳作 那賀高等学校育友会  
桐蔭中学校・高等学校PTA  
笠田高等学校PTA



### 編集後記

会員の皆様には、日頃よりPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、令和7年度の高等学校PTA連合会の行事を紹介いたしますので、ご予定のほどお願い申し上げます。

第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会は、令和7年8月21日22日に「出会いはじまる常若のくに」をテーマに津市で開催されます。また、第50回近畿地区高等学校PTA連合会大会兵庫大会は、令和7年7月13日に姫路市で開催されます。本県においては、令和7年6月14日に県民文化会館にて定期総会、令和8年1月17日に県民文化会館小ホールにて指導者研修会の開催を予定しています。他に理事会(5月・9月)、教育懇話会(11月)や合同専門委員会(7月)も開催予定です。全国的にもPTA活動に逆風が吹いている現状であります。令和8年7月4日、和歌山城ホールにて第51回近畿地区高等学校PTA連合会大会和歌山大会の開催が予定されています。和歌山県高等学校PTA連合会が一丸となつて取り組んでいきます。皆様方のご協力をお願いします。最後に、本号の作成に際し、ご協力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

(事務局長)

## 和歌山県高等学校PTA連合会推薦 中学生・高校生総合保障制度

もしもの時は、スピーディーに  
保険金をお支払いします!



### デジタル保険金請求

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術、持ち物の損害<sup>※</sup>は

オンラインで簡単請求

**24時間365日** いつでも、どこでも受付けます!



### 簡単支払特急便

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で10万円以下のご請求は

電話による事故報告のみ

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご利用には条件がございます。ご利用条件とご利用方法は、ご加入後に送付する加入者証でご案内します。  
※ 持ち物の損害は「学校管理下動産補償特約」「携行品損害補償特約」が付帯されているプランの場合にご利用いただけます。

引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社 和歌山支店**  
〒640-8355 和歌山市北ノ新地1-25  
(AIG和歌山ビル3階)  
TEL 073-432-5641 FAX 073-428-2335

取扱代理店  
**フォーユー株式会社**  
〒640-8203 和歌山市東蔵前丁4番地  
(ファーストビル6階)  
TEL 0120-175-688



**AIG 損保**